

しなののうた

開け放つ部屋に入りくる朝風に真っ白なりて今日の始まる



杉田小百合

しなののうた

際立ちて真白き百合の咲き満ちて溢れる香り憂さ掃ひくる

杉田小百合



しなののうた

紫を好みし母が恋しくて紫色の扇子を買ひぬ



杉田小百合

しなののうた

アマビエを作るも高き鼻折れてムンクのごとき大きき口開く

杉田小百合



しなののうた

梅雨明けの雑草蔓延る畑なかに草引く女に母の面影



杉田小百合